

TECHNICAL DATA

種 類	勾配床・排水溝兼用 速硬・流動型下地調整材
商 品 名	J SベランダフローQ

改訂版数：	第3版
-------	-----

DATE： 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

- 種類：勾配床・排水溝兼用 速硬・流動型下地調整材
- 商品名：J SベランダフローQ
- 用途：①勾配床（ベランダや廊下等）の下地調整
②排水溝（水勾配）の下地調整
- 適用下地：コンクリート、セメントモルタル、PCパネルなど
- 部位：内外部床面
- 工程

工程	材料・調合	施工用具	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
吸水調整	スタッコ 床用プライマー 主材：15kg（無希釈）	ウールローラー 水性刷毛 等	1～2	2時間以上 工程内 30分以上	75～100㎡/15kg缶 0.15～0.20kg/㎡
勾配床	J SベランダフローQ 粉体：25kg 清水：約6.0L	左官用金鏝	1～2	3日以上 工程内 1時間以上	約20.5kg/㎡ (10mm厚、混練水含む) 約1.5㎡ (10mm厚) 混練比重：約2.05kg/L 練上容量：約15L
排水溝 (水勾配)	J SベランダフローQ 粉体：25kg 清水：約5.5L	左官用金鏝	1～2	3日以上 工程内 1時間以上	約3.1kg/m (15mm厚、幅100mm、混練水含む) 約10.0m (15mm厚、幅100mm) 混練比重：約2.05kg/L 練上容量：約15L

● 施工上の要点

(1) 下地処理

モルタルの接着を阻害するコンクリート脆弱層・レイトランス・油分・埃等を除去してください。

(2) 吸水調整

スタッコ床用プライマー（原液）をムラ無く塗布し、乾燥後に2回目の塗布を行ってください。

その後、十分に乾燥させてください。（標準乾燥時間：2時間以上、指触で乾燥状況を確認）

(3) 材料の混練り

使用用途に合わせて、粉体と清水を上記の調合割合で容器に採り、高速ハンドミキサーで3分間以上混練してください。

①勾配床 … 粉体：清水＝25kg：6.0L

②排水溝 … 粉体：清水＝25kg：5.5L

※材料混練り後の可使時間は15分以内としてください。

(4) 材料の流し込み

上記で混練した材料を直ちに流し込み、追っかけて所定の厚みで平滑に均してください。

(5) 養生

施工後は、直射日光・通風・降雨・凍害等に充分注意し、必要に応じてシート養生を行ってください。なお、施工後からの初期硬化時間（軽歩行が可能）は、春・夏・秋期は3時間以上、冬期は6時間以上です。

● 注意事項

(1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。

(2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。

(3) 材料の粉体は湿気や水掛かりに注意し、保管して下さい。

組 成 表

種 類	勾配床・排水溝兼用 速硬・流動型下地調整材	
商 品 名	J S ベランダフローQ	
荷 姿	スタック床用プライマー（吸水調整材）	NET. 15kg/缶入
	J S ベランダフローQ（下地調整材）	NET 25kg/袋入
組 成		

●スタック床用プライマー（吸水調整材）

内 容	重 量 (%)
カチオン・アクリル樹脂エマルジョン	11 ~ 12
清 水	88 ~ 89
計	100

●J S ベランダフローQ（下地調整材）

内 容	重 量 (%)
結合材（特殊セメント）	45 ~ 55
骨材	45 ~ 55
粉末樹脂	1 ~ 3
添加剤など	1 ~ 2
計	100.0

性能試験成績書

種 類	勾配床・排水溝兼用 速硬・流動型下地調整材	
商 品 名	J SベランダフローQ	
供 試 材 料	J SベランダフローQ	
JASS 15M-103 に準拠		
項 目	品質基準	試験結果
フロー値	19cm以上	20.2cm
凝結時間 (20℃)	始 発	45分以上
	終 結	20時間以内
圧縮強度	材齢 7日	—
	材齢28日	20N/mm ² 以上
下地接着強度	材齢 7日	—
	材齢14日	0.7N/mm ² 以上
表面接着強度	0.5N/mm ² 以上	1.8N/mm ²
長さ変化	0.12%以下	0.11%
衝 撃	割れおよび剥がれがないこと	割れおよび剥がれなし
※参考試験 (JIS R 5201、JIS A 1171など)		
項 目	測定結果	
単位容積質量	2.05	
曲げ強度	材齢 7日	6.4
	材齢28日	6.9
※結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。		
—以下余白—		

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。

《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。